

令和2年度において国の地方創生関連交付金を活用して実施した事業の効果検証 ～国の基準による効果検証～

資料5

No.	まちづくりビジョンの基本方向	事業タイプ	交付対象事業の名称	取組内容	交付金の種類(補助率)	実績額(事業費) 単位:円 ※連携事業の場合は本市分の事業費	本事業における重要業績評価指標(KPI)										取組の総括
							指標の推移										
1	4-7 広域連携による 観光振興	先駆	名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト【平成28年度～令和2年度】	鳥取県と鳥取県西部圏域市町村で策定した地域再生計画(名峰「大山」とともに生きる・鳥取県中西部圏域の広域観光推進プロジェクト)が国から認定され、令和2年度は、当該計画に基づき、大山山麓・日野川流域観光推進協議会において、地方創生推進交付金を活用して、下記の事業を実施した。 ●1300年祭レガシー事業 大山山麓の謎解き宝探し、米子城歴史ウォーク、米子城跡ライトアップ2020夏の陣、刀剣展・刀剣たたら関連イベント ●地方創生推進部会事業 大山パワーブランド化推進事業(大山ブランドPR他)、誘客加速化プロモーション事業(メディアプロモーション、JAFデジタルスタンプラリー 他)、広域観光連携体制整備事業(サイクリング聖地化事業、つながるマルシェ事業 他)、大山エコトラック推進事業、二次交通整備推進部会事業	①地方創生推進交付金(1/2)	16,140,053	指標①	事業開始前	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	米子市と鳥取県の共管事務局体制のもと、令和2年度からは倉吉市と琴浦町が新たに当会に正式加入し中西部圏域11市町村と県の枠組みの中で、より一層広域的な観光連携を行いながら、民間事業者とも連携を深めつつ、各地における観光施設や宿泊、飲食店などの観光産業の収益につながるよう各事業を実施した。特に本年度は、コロナ禍において観光振興をめぐる環境が劇的に変化する状況であったため、一部事業の中止や延期など、当初計画の変更を余儀なくされたものがあったが、新しい生活様式に即した効果的な事業執行を実施した。		
							観光入込客数(年間/人)	10,440,000	10,127,000	9,543,000	9,646,000	10,128,000	5,735,000	R2年度において11,140,000人			
							指標②	事業開始前	H28	H29	H30	R1	R2	目標値			
							外国人宿泊者数(年間/人)	103,430	100,320	140,530	194,730	184,600	34,530	R2年度において394,330人			
2	4-7 広域連携による 観光振興	先駆	中海・宍道湖・大山圏域ブランド化推進プロジェクト【平成28年度～令和2年度】	継続して外国人観光客受入環境整備を実施した。WEBを中心とした観光プロモーション等、海外向けの情報発信を行った。 人口集中地域である三大都市圏(首都圏・中京圏・関西圏)や直通便のある東北方面(仙台)等をターゲットとして観光プロモーションを実施した。 ※山陰いものマルシェは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	①地方創生推進交付金(1/2)	3,651,737	指標①	事業開始前	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	地方創生推進交付金事業は令和2年度で終了したが、圏域のブランド化推進の取組としては、引き続き、令和元年度に設立した中海・宍道湖・大山圏域観光局の事業として取り組むこととしている。		
							圏域への観光客入込数(年間/人)	28,487,613	28,265,743	27,445,058	26,845,496	28,436,796	17,077,995	R2年度において40,700千人			
							指標②	事業開始前	H28	H29	H30	R1	R2	目標値			
							圏域での外国人宿泊客数(年間/人)	85,235	93,543	117,397	146,465	153,705	10,204 ※鳥取県3市のみの参考値(鳥取県の公表値なし)	R2年度において123,000人			
							指標③	事業開始前	H28	H29	H30	R1	R2	目標値			
							山陰いものマルシェ来場者数(累計)(人) ※H27(45,000人)からの累計	45,000	78,000	《累計》 101,000				H29年度において累計150,000人			
3	4-2 成長産業の育成と新産業の創出	先駆	中海・宍道湖・大山圏域のローカルToグローバルイノベーション【平成28年度～令和2年度】	医療機関のニーズと企業が持つ技術とのマッチング、また医療機器の開発事業化への助言などを一体的に行うことを目的として、医工連携コンシェルジュを設置した。 ニーズ・シーズ調査、医療機器開発支援及びデータベースの構築を行った。 また、2件の新製品(トラキアBOX、エマークイック・プロ)を開発し、製品説明会を実施した。	①地方創生推進交付金(1/2)	4,352,094	指標①	事業開始前	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	地方創生推進交付金事業は令和2年度で終了したが、医工連携の取組としては、引き続き、中海・宍道湖・大山圏域市長会事業として取り組むこととしている。		
							圏域内企業等の優れた技術を活かした医療機器等の実用化件数(件) ※H30からの目標設定			1	1	1	《累計》 3	R2年度において累計6件 ※各年度2件			
							指標②	事業開始前	H28	H29	H30	R1	R2	目標値			
							入口・開発・出口の各支援事業の相談件数(件) ※H29からの目標設定			78	179	292	《累計》 347	R2年度において累計400件 ※各年度100件			
							指標③	事業開始前	H28	H29	H30	R1	R2	目標値			
入口支援事業により研究事業へのマッチング成立件数(件)		0	0	12	17	《累計》 22	R2年度において累計20件 ※各年度5件										

No.	まちづくりビジョンの基本方向	事業タイプ	交付対象事業の名称	取組内容	交付金の種類(補助率)	実績額(事業費) 単位:円 ※連携事業の場合は本市分の事業費	本事業における重要業績評価指標(KPI)										取組の総括
							指標の推移					指標の推移					
4	4-5 皆生温泉のまちづくり	—	山陰のド真ん中！皆生温泉圏域観光拠点整備事業【平成29年度】 ※平成28年度繰越予算	皆生温泉のランドマークとして、新たな観光客誘客や地元の市民の利用の向上などを目的に、米子市観光センターの改修工事を行った。(平成29年度実施) ＜事業概要＞ エレベーター新設、トイレの洋式化、照明設備等の改修 ※地方創生推進交付金「名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト」と連携	②地方創生拠点整備交付金(1/2)	※H28予算	指標①	事業開始前	H29	H30	R1	R2	目標値	観光センターを圏域の観光拠点として活用するほか、集客性のあるイベント実施や施設利用のPRを強化するなど、今後も利用者増とにぎわいの創出を図ることとしている。			
							米子市観光センターの利用者数(人)	104,780	99,120	99,226	86,430	42,283			R2年度において116,000人		
							指標②	事業開始前	H29	H30	R1	R2			目標値		
							米子市観光センターの売上高(千円)	9,500	6,830	6,553	4,726	15,222			R2年度において50,000千円		
5	4-4 雇用の安定と確保	横展開	中海・宍道湖大山圏域 インド人材確保・企業連携推進事業【平成30年度～令和2年度】 山陰インド協会等の関係団体と連携し、圏域企業の海外進出支援のための官民挙げたインド進出及び人材確保実現のため以下の事業を行った。 ・当初計画していたインド人留学生のインターンシップ、圏域内企業のケララ州での就職フェア等については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。代替として、希望する圏域内受入企業及びインターンシップ参加候補生(32人)を対象とした企業説明や個別面談を実施。 ・インターンシップ参加候補者向けオンライン日本語教育の実施 ※人材雇用に関する調査は、2019年度実施予定だった留学生インターンシップを新型コロナウイルス感染症の影響により中止したこともあり、2020年度、新規にインドIT等人材を雇用した圏域IT等企業がなく調査を実施できなかった。	①地方創生推進交付金(1/2)	1,581,998	指標①	事業開始前	H30	R1	R2	目標値	地方創生推進交付金事業としては令和2年度で終了したが、インドとの経済交流の取組としては、引き続き、中海・宍道湖・大山圏域市長会事業として取り組むこととしている。					
						インドIT等人材の圏域内企業への就職者数(人)		5	5	《累計》 5			R2年度において累計23人				
						指標②	事業開始前	H30	R1	R2			目標値				
						日印間業務提携企業数(社)		1	1	《累計》 1			R2年度において累計4社				
						指標③	事業開始前	H30	R1	R2			目標値				
						インド人留学生インターンシップ受入れ人数(人)		14	中止	中止			R2年度において42人				
6	4-7 広域連携による観光振興 4-8 インバウンド対策の推進	横展開	山陰まんなかインバウンド推進プロジェクト【平成30年度～令和2年度】 【皆生温泉まち歩き魅力増進事業】 ・アフターコロナにおけるインバウンド受入環境向上に取り組むとともに、来街者の皆生温泉エリアにおける外歩きによる消費拡大を狙い、実証実験を実施した。 【KAIKE AKARI PARK(カイケアカリパーク)の実施】 ・皆生温泉街の入口であり滞留拠点でもある米子市観光センターの前庭、足湯付近を照明器具(紋様灯籠)で彩るとともに、皆生温泉ならではの海・砂浜・温泉街の夜景景観を活かす照明器具を海岸遊歩道及び海浜公園内に設置することにより、地域住民、日帰り客、宿泊客のそぞろ歩きを促し、海浜公園での飲食イベントを目的化させることで、皆生温泉エリア内の滞在時間延長に取り組み、夜間の賑わいを創出した。(令和3年3月20日、21日実施)	①地方創生推進交付金(1/2)	7,084,000	指標①	事業開始前	H30	R1	R2	目標値	引き続き、アフターコロナにおけるインバウンド需要回復を見越し、皆生温泉の磨き上げに取組むとともに、松江市、出雲市、境港市と連携し、一体となった観光PRやインバウンド対策を推進する。					
						外国人観光宿泊客数(人)	117,000	146,430	146,732	10,204 ※鳥根県3市のみの参考値(鳥取県の公表値なし)			R2年度において152,000人				
						指標②	事業開始前	H30	R1	R2			目標値				
						外国人観光客消費額単価(円)	130,653	131,223	137,948	185,413			R2年度において175,653円				
						指標③	事業開始前	H30	R1	R2			目標値				
						外国人観光客の満足度(%) ※H31から実施			89.6	90			R2年度において70%				
						指標④	事業開始前	H30	R1	R2			目標値				
						実施したインバウンド対応メニューのうち満足度が8割以上のものの数(本) ※H31から実施			4	1			R2年度において28本				

【凡例】

交付金の種類

①地方創生推進交付金:「地方版総合戦略」に定められた自主的・主体的で先導的な事業を記載して作成した地域再生計画に基づく事業の実施を支援すること目的とする交付金(補助率1/2)。平成28年度から複数年の支援。

②地方創生拠点整備交付金:地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業のうち、未来への投資の実現につながる先導的な施設整備を支援すること目的とする交付金(補助率1/2)。